いーもび通信
NEWS LETTER
地域の「元気」をお届けするニュースレター
2020年 7月号 Vol. 10
NPO法人イーモビネット

支え合おう、熊本。 災害を乗り越え新しい地域づくりを。

■ この度の熊本南部・九州豪雨災害、謹んでお見舞い申し上げます。

熊本県内各地域のまちづくりを支援させていただいている当団体としても、被災地域の復興・再生に少しでもお役に立てる取り組みをする事が当団体の事業目的にも適うことから、現在以下のような活動を進めています。

① 一般ボランティア募集による現地での支援活動

コロナ禍で県外のボランティアの受け入れが困難ななか、熊本県内を中心に一般参加者を募り、人吉地域ほかの関係団体を受け入れ先として、災害ボランティアチームを週１～２回ペースで派遣しています。

② 支援物資のお届け

スタッフや関係者の呼びかけにより届いた全国各地からの支援物資は、自治体などの公的機関にゆだねることなく、被災地の関係団体からのニーズや情報を踏まえて、直接被災地の団体や支援拠点にお届けしています。

③ 車両の供与ほかボランティア関連経費の支援

被災者や被災地で活動する団体の支援のため、車両の無償供与、現地を往復するための経費（燃料代や高速道路料金など）、水害ボランティア用作業用品（防塵マスクなど）の購入費などを、当団体の活動費から捻出させていただいてます。

被災地の皆さまが、一日も早く元の生活に戻れるよう、これからも出来る範囲で支援をしていきたいと思います。引き続き、皆さま方からのご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

令和２年７月

ＮＰＯ法人イーモビネット　代表理事　鶴岡　良一

被災地への一般ボランティアチームの派遣（7月18日人吉市）

支援物資のお届け（7月11日 八代市坂本町：球磨村への拠点）

支援車両の貸出し（7月5日 芦北町）

01 水俣港シェアリングカーモニター事業、再スタート！

（天草の離島を『海の道』で繋ぐ、モビリティシェアリング 「うみラクプロジェクト」）

昨年度から、天草市の離島「御所浦」を舞台に展開しています「うみラクプロジェクト」の一環として、イーモビネットでは、海上タクシーで渡った港からの移動の不便さを解消するため、対岸港で手軽に借りれるシェアリングカー（電気自動車）を配備していく予定です。

今年２月～３月のモニター事業に続き、７月22日よりスタートした今回の実証実験では、新たに新水俣駅で「乗り捨て」が出来るサービスも加えることで、ニーズの掘り起こしと課題の把握を進めていきます。

（8月31日までの夏休み期間中はモニター事業として、車両の無償での貸し出しを行っています。）

e-mobinet × TOYOTA mobility FOUNDATION

イーモビネットは、不知火海周辺の海と陸の交通の利便性を高めることにより、観光を含めた湾岸地域の広域的な交流促進に繋げていきます。

【シェアリングカー配置場所】
水俣港（百間港）旅客船発着所
（熊本県水俣市月浦54-179）

【利用登録・予約】
御所浦物産館しおさい館
0969-67-1234
（8：30～17：30）

02 令和2年7月豪雨　支援活動について

7月4日（土）災害発生からの主な支援活動内容は以下のとおりです。（7月31日現在）

① 7月 5日（日）　・芦北町へ支援物資のお届け（飲料水、トイレットペーパーなど）
　・電気自動車（アイミーブ１台）の貸出し　（7月17日まで）
② 7月11日（土）　・八代市坂本町（球磨村へのベース拠点）へ支援物資のお届け（飲料水など）
③ 7月12日（日）　・人吉市で災害ボランティア活動（上青井町の民家の泥出し・家財道具の運び出し）4名
　・人吉市の被災事業者へ支援物資のお届け（衛生用品類）
④ 7月18日（土）　・人吉市で災害ボランティア活動（城本町の民家の泥出し・家財道具の運び出し）9名
⑤ 7月25日（土）　・人吉市で災害ボランティア活動（青井神社周辺の災害ゴミ除去・清掃）9名
　・青井阿蘇神社、上青井町物資支援拠点、人吉スポーツパレス（避難所）へ支援物資のお届け（衛生用品、タオル類）
⑥ 7月28日（火）　・人吉市へ支援物資のお届け（支援者から寄贈いただいた冷蔵庫・洗濯機・布団類）

令和２年7月豪雨　災害ボランティア活動に参加して

－NPO法人イーモビネット　広報・マーケティングスタッフ　**後潟美奈子**－

今年より活動に参加しております後潟です。
この度の令和２年７月豪雨にて被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。
今回私は、人生で初めて災害ボランティア活動に参加しました。２年前に大阪から熊本へ移住し、当時の東日本大震災や熊本地震の際は、テレビでニュースを見て悲しむだけで、何かしたくてもどうしたらいいのかわからず、誤った情報や遅れた情報に惑わされてしまい、時間だけが過ぎていきました。そんなもどかしい経験があったので、今回は熊本にいるので出来ることをしようと思いました。

私と同じ、遠方からテレビを見て悲しいけどどうしたらいいのかわからない、何かしたい方の窓口になれればと思い、身内だけに支援物資の協力を呼びかけました。
すると、全国各地の友人知人から続々と支援物資が届きました。中には、心のこもったお手紙を添えていたり、ボランティア活動用の作業用品であったり、被災された母子や女性のことを思った物資が詰め込まれていて、１品１品に感動しました。　正直こんなにたくさん届くとは思っておらず、嬉しい驚きでした。

全国各地から届いた支援物資の一部

支援物資お届けの様子

預かった支援物資は、直接被災地に大切にお届けさせていただき、すごく感謝していただきました。
たくさんのご支援、ご協力本当にありがとうございました。
コロナ禍の今、こうして遠方から災害地域のボランティアに協力してくれる『ボランティアを支援するボランティアのカタチ』も必要だと感じました。
復旧復興には皆様のお力が必要です。
これからも応援の程、宜しくお願いします。

本ニューズレターほかへのお問合せ
info@e-mobinet.jp
編集・発行
NPO法人イーモビネット
〒862-0941 熊本県熊本市中央区出水１丁目2-11-104
http://www.e-mobinet.jp
TEL：096-295-5116　fax：096-295-3884